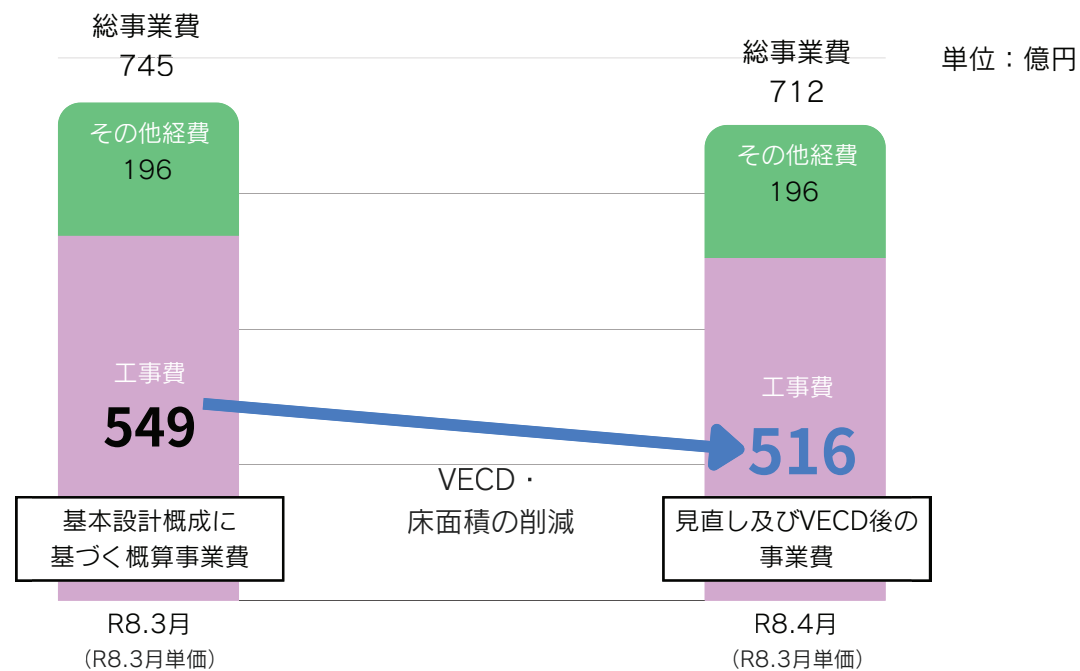


第二部

これからの挑戦

事業費の妥当性

持続可能な事業規模水準まで圧縮



持続可能な事業規模の水準となるよう、またこれ以上事業を遅らせないようにするため、構造を大きく変えず床面積の削減と設備・内外装等の仕様の見直しを行った。

高騰する工事費に対応しコスト削減に向けた見直しを実施（市取得費 20億円減）

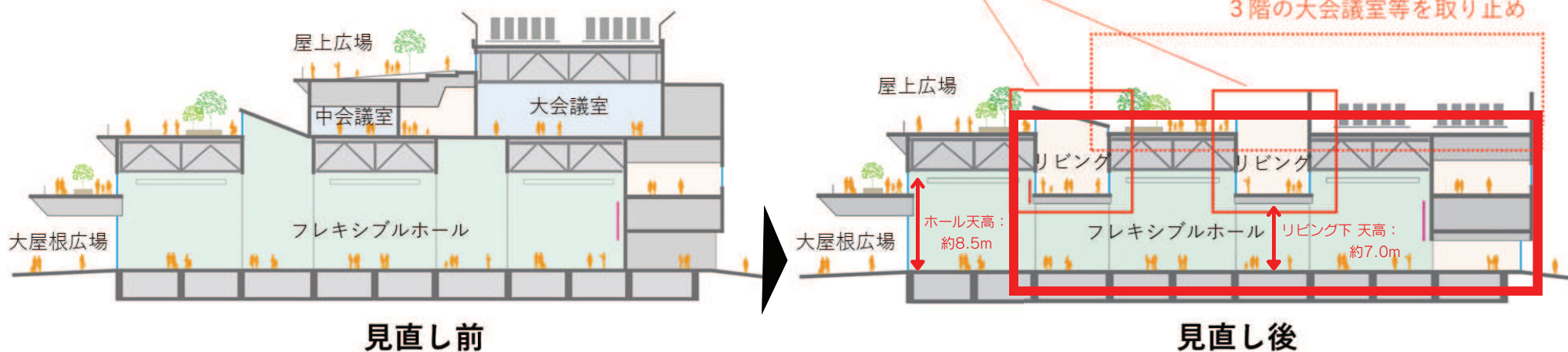
総事業費		(単位：億円)		
項目	金額	項目	金額	
支出金	工事費	516	補助金	324
	調査設計費	39	保留床処分金(市取得分)	327
	解体費等	73	保留床処分金(オフィス床)	16
	補償費	38	参加組合員負担金(住宅棟)	45
	事務費・利息	46		
事業支出合計	712	事業収入合計	712	
(見直し前)	745)			

市取得費の内訳（補助控除後）				(単位：億円)
項目	基本設計概成時	見直しVECD後	差引	
工事費	214	194	△20	
共通経費	118	118	0	
土地代	15	15	0	
市取得費合計	347	327	△20	

ただし、当該事業費は現時点のものであり、昨今の社会情勢や物価上昇により、今後事業費の増加が想定される。今後実施設計を進めつつ、事業費の精査を行う。

MICE機能を維持しながら床面積約1,500㎡を縮充（市取得費20億円の削減）

■ 公共エリア南北方向断面イメージ



見直し後のフロア

見直し前

4F	屋上広場		屋上広場
3F	屋上広場 中会議室×2 大会議室×1	リビング	屋上広場 小会議室×3
2F			ホワイエ 小会議室×2 中会議室×1
M2F	ホール		控室
1F			ホワイエ 控室
階	ホール		まちなかりビング

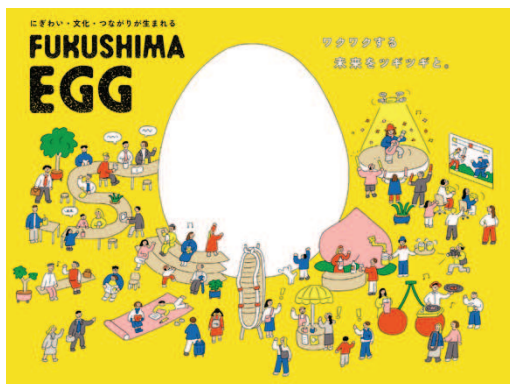
見直し後

4F				
3F	屋上広場		屋上広場 中会議室×2	会議室として一部活用を検討
2F			ホワイエ 中会議室×2	
M2F	ホール	リビング	控室 小会議室×5	
1F			ホワイエ 控室	
階	ホール	まちなかりビング	その他の公共部分	民間エリア

※見直し後も機能は維持

	ホール	大会議室	中会議室	小会議室	民間エリア
見直し前	A・B・C	1室(2分割可)	3室	5室	—
見直し後	可変スペース1・2	—	4室	5室	会議室として一部活用を検討

事業費を削減しても機能は変わらないように設計



※この場所で実現する
12のシーンも維持

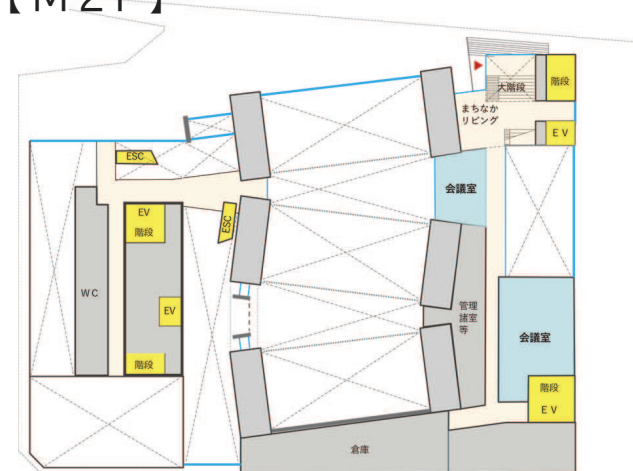
1		コアなファンが集う ⇒ フレキシブル・ホール、大屋根広場 ほか	7		音楽に高揚する ⇒ フレキシブル・ホール、大屋根広場 ほか
2		スポーツで盛り上がる ⇒ フレキシブル・ホール、大屋根広場 ほか	8		ふらっと立ち寄ってのんびりする ⇒ まちなかりビング、屋上広場、大屋根広場 ほか
3		ふくしまの食にワイガヤする ⇒ フードホール ほか	9		新しいアイデアがひらめく ⇒ フレキシブル・ホール、会議室、シェアオフィス ほか
4		文化パフォーマンスに酔う ⇒ フレキシブル・ホール、大屋根広場、屋上広場 ほか	10		多様なネットワークが生まれ、深まる ⇒ フレキシブル・ホール、会議室、シェアオフィス ほか
5		最新の技術や製品に触れる ⇒ フレキシブル・ホール、ホワイエ、大屋根広場、会議室 ほか	11		ふくしまや日本・世界の名産に出会う ⇒ フレキシブル・ホール、物産館 ほか
6		異なる価値観が交差する ⇒ シェアオフィス ほか	12		新しい文化芸術を知る ⇒ フレキシブル・ホール、大屋根広場 ほか

各階平面

【1F】



【M2F】



【2F】



【3F】

